

生産性向上に期待

数年来の懸案だった、原石の大塊処理に対応する為、油圧ブレイカーを導入しました。

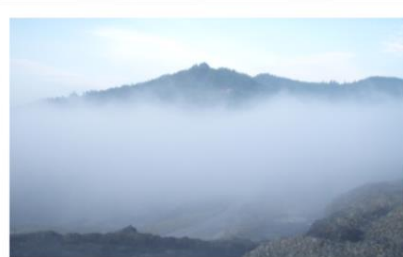
本体は、従来機のコマツ製PC220で若干の整備をして甲南建機製MKB1500V2を取り付けました。当社の場合従来、発破とリッピングにより掘削していましたが、1次クラツシヤーに投入できないほどの大塊の発生はほとんどなく、ブレイカーは保有していませんでした。

今回の導入により、原石分留まりの向上、プラントの破碎効率の向上、電力量、火薬量の低減等に効果を発揮してくれるものと期待しています。

残暑 もうひといき

処暑を過ぎても、いっこうに秋の気配がない。それどころか、連日の夏日でプランターの茄子は夕方になるとしんなりしてしまう。現場の人達も心なしか無口でげんがりしているようだ。それでも朝露が立つようになると秋もそこまで来ているのかと思う。

昔の人は言いました。『暑さ寒さも彼岸まで』暑さにめげずに頑張りましょう。



幽玄な朝の採石場



現在5本収穫済み

編集後記

免許証の書換えに行ってきました。もう何回目の書換えになったのやら…(笑) 講習でUターンについての横話が出たのですが、右→の信号でUターンすると違法になると知っていましたか? 「右矢印(→)は右折だけできます」という「指定方向外進行禁止」の表示なんだそうです。直進も左折もUターンもできません。右折だけできますと言う表示・知らずに違反していることあるな~と思いました。



またまた今月も!

新入社員紹介

8月は砕石部に新入社員が加わりました。田頭敏光さん(31)です。建設現場での経験があり、就業初日からダンプに乗って、さっそう(?)と場内を走っています。周りは自分のおやじさんみたいな人が多いですが、色んなことを吸収して大きく成長してください。



~柔道の判定が教えるもの~

オリンピックが終わった。ロンドンとの時差は8時間であるので、ほとんどの競技は日本時間の深夜から早朝である。夜更かしはお肌に悪いので生中継はあきらめることにしていたが、メダル圏内の競技は気になる。その中で柔道の勝敗判定が覆った試合があった。

柔道は白黒はっきりつける競技と思っていたが、姿三四郎とか、柔道一直線の時代とは様相が違うようだ。誤審を防ぐためにビデオ判定が導入され、微妙な技の応酬では、試合を止めて審議する。相撲のまわしまったのようで、勝負に水を差すことはなはだしい。柔道がローカルな武道から国際的なスポーツへ成長した証かもしれない。

物事に客観性とか合理性を付加させようとする、反面形式ばって窮屈に感じることがある。世界中で通用する標準などは、合理性の固まりみたいなものなのだろうが、裏を返せば、『大いなるマンネリ』の積み重ねともいえないだろうか。ビデオ判定は合理的ではあるが、試合の流れから競技者が作る『間合』『勢い』『技の美しさ』等は、マンネリの感性が認識する範疇と思えるのだ。

閑話休題、物作りでは日本全国あまねく数字で比べられると、作る人も使う人も都合がよい。そこで工業製品には標準規格が決められている。ビデオ判定のビデオ映像である。

しかし、砕石の特殊性は、産地ごとに、成分、密度、色合い、手触り、形などが違うことである。この特殊性を認識してこそ真の産地消が見えてくるのではないかと、柔道の判定の事を思いつつ秘かに思案するのだ。

身体の老いと心の老い



お盆の休暇に合わせて、中学校の同窓会が開催された。100名近い参加者で全員とお話することは出来ないが、皆懐かしい顔である。しかし、遠目で見てあの人誰だっけという人もいる。身体の見掛けは残念ながら着実に老いへ向かっている。酒が進むにつれ、そんな身体的老化のことなど忘れ昔話しに花が咲く。

古い接点につなぐと古い反応を起こすのだ。その古い接点、心の老化を防ぐ薬なのかもしれない。